

2016年1月から「マイナンバー」が適用される主な分野・項目

<p>社会保障</p>  <ul style="list-style-type: none"> 雇用保険の資格取得や確認 生活保護事務 保険料徴収事務 児童手当等の支給事務など 	<p>税</p>  <ul style="list-style-type: none"> 税務当局に提出する確定申告書、届出書、調書など 	<p>災害対策</p>  <ul style="list-style-type: none"> 被災者への支援金の支給 被災者台帳の作成
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

年金情報流出問題で中断していたマイナンバー法「改正」法案が8月28日、参院で可決された。個人情報流出への懸念が高まるなか、見切り発車すること批判の声が相次いでいる。

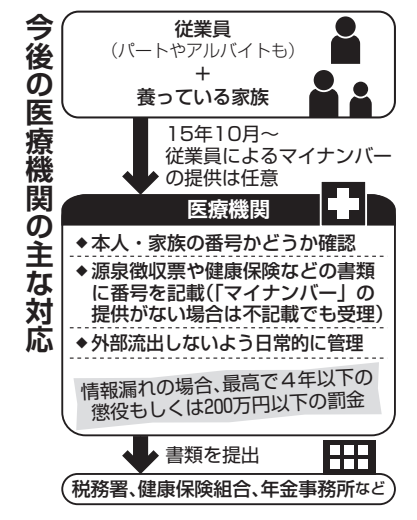
対策を迫られる医療機関

「マイナンバー」制度のスケジュール

2015年10月	個人番号の「通知カード」を各世帯に送付
2016年1月	希望者に「個人番号カード」を交付 行政手続きなどで利用開始
2017年	予防接種データと特定健診情報に個人番号をひも付け ※
2018年	預金口座に個人番号をひも付け(任意) ※
2021年以降	預金口座へのひも付け義務化 ※

当面延期	基礎年金番号とのひも付け(2017年末までに実施) ※
検討中	個人番号カードを健康保険証代わりに 戸籍へのひも付け 受診歴の確認など医療分野に適用

※「改正」法に盛り込まれた内容



今後の医療機関の主な対応

「マイナンバー」制度が導入されれば、民間企業が個人番号を適切に管理することが求められる。医療機関も例外ではなく、流出した場合には厳しい罰則がある。

現状では「マイナンバー」の提供を患者に求めることはないが、従業員や扶養家族の番号の管理が求められる。管理には、書類の管理を徹底▽パソコンへのウイルス感染や不正侵入対策、アクセス記録の保存▽「マイナンバー」に対応したソフトへの切り替え—など

業も個人番号を適切に管理することが求められる。医療機関も例外ではなく、流出した場合には厳しい罰則がある。

現状では「マイナンバー」の提供を患者に求めることはないが、従業員や扶養家族の番号の管理が求められる。管理には、書類の管理を徹底▽パソコンへのウイルス感染や不正侵入対策、アクセス記録の保存▽「マイナンバー」に対応したソフトへの切り替え—など

協会では、「マイナンバー」制度の撤回を訴えると共に、医療機関が対応できるように10月以降に講習会を開く。

木桶のバケツに入ったおかゆには天井が映るほどだった。イモやご飯を食べさせてもらえたので、農家の刈り入れ時には喜んで手伝いに行った。両親が闇で買った甘いものを面会で持ってきてくれるのがなにより楽しみだった。

「マイナンバー」広がる懸念

「改正」法で預金口座と連結 見切り発車に批判相次ぐ

「マイナンバー」制度は、国民に割り振った番号で所得や社会保障に関する個人情報を管理する仕組みだ。税務署や市町村、ハローワークなど

の行政機関の情報をネットワークでつなぎ、一元管理する。10月から国民一人ひとりに12桁の番号を知らせる「通知カード」が郵送され、来年1月から本格運用が始まる。政府は、社会保障の給付を効率的に管理した

り、国民の申請手続きが簡単になったりすると宣伝している。しかし、番号が流出すれば収入や健康状態などが他人に知られる可能性が。専門家からは、今後、医療分野への適用が進め

ば「健康リスクが高い人の保険料の値上げに活用」される「社会保障の給付を支払った税金・保険料の範囲内に制限する「個人会計制度」の布石」など、社会保障の切り捨てにつながる危険性が指摘されている。

「マイナンバー」制度が導入されれば、民間企業が個人番号を適切に管理することが求められる。医療機関も例外ではなく、流出した場合には厳しい罰則がある。

業も個人番号を適切に管理することが求められる。医療機関も例外ではなく、流出した場合には厳しい罰則がある。

が必要。対策費用は全て医療機関の持ち出しだ。ただ、個人番号の提供は任意となっており、従業員から番号を得られないことも想定される。その場合は、行政への提出書類に「マイナンバー」を記載しなくても受理されることになっており、罰則もない。

私の近所に「この辺り海抜マイナス70センチ」という表示板が出た。初めて知ったことだが、緊急避難時には大いに役立つ情報である。

自然の変化はジグザクに現れる。人間は過去を類推するしか未来を予測できない。今年が平穏な年だったとしても忘れぬことだ。

戦時中は甘いものは贅沢品だった。闇市で買った砂糖でせんざいを作り、父と母と3人で楽しみしていたその夜、神戸が空襲に見舞われた。警防団の副団長だった

父は、「せんざい残して」といながら、飛び出していった。母と私は、食べかけのせんざいを惜しみながら、床下に掘った防空壕に身を潜めた。庭がない民家では床

池田市・永岡博さん(82)

疎開先では誰かがカキを盗んで食べたことが発覚し、「連帯責任だ」と言われて往復ビンタを食らった

下を掘って、側面に板を張り、藁を敷いた防空壕を備えていた。「ビュ」という焼夷弾が落ちる甲高い音や、「ドッカーン」という爆弾のはじける音を聞いた。このままでは蒸し焼きになると思い、母と外に出た。あちでも、こっちでも火の手が上がっていた。母に手を引かれながら逃げ惑ったが、結局、四方八方から火の手と煙に追われた挙げ句、自宅へ戻っていた。診療所を兼ねた自宅は

終戦1年前の夏、和田山町(現朝来市)で半年余り学童疎開した。ひもじかったことが思い出だ。うすいうすいおかわ一杯と梅干しが朝食だった。

戦争では敵であれ味方であれ多くの民衆が命を奪われる。9条を破壊して、日本を再び戦争で殺し殺される国にしてはならない。

阪神大震災の時、私の住む神戸市東灘区の知名度は突如、全国レベルになった。鹿児島県の薩摩川内や三重県の尾鷲などは、ほぼ隔年くらいの頻度で洪水や土砂崩れが報道され、その読み辛い地名が全国的に知られた。その川内では全国に先駆けて原発の再稼働に踏み切った。安全性の評価に、過去に例のない大型台風が十分助定に入れてあるのか心配である。近所に住む人の思いはどうなのだろうか。

今日の数字

73%

「マイナンバー」制度について、「不安だ」と答えた人の割合。6月のJNN世論調査から。

歯界

阪神大震災の時、私の住む神戸市東灘区の知名度は突如、全国レベルになった。鹿児島県の薩摩川内や三重県の尾鷲などは、ほぼ隔年くらいの頻度で洪水や土砂崩れが報道され、その読み辛い地名が全国的に知られた。その川内では全国に先駆けて原発の再稼働に踏み切った。安全性の評価に、過去に例のない大型台風が十分助定に入れてあるのか心配である。近所に住む人の思いはどうなのだろうか。